

食とエネルギーを生み出す ソーラーシェアリング市民 農園

2026年1月30日 自然エネルギー財団
非営利型株式会社宝塚すみれ発電
代表取締役 井上保子



完済



1号
全額疑似私募債

2012年12月 11.16 kW

宝塚すみれ発電所

宝塚市市民発電所設置モデル事業

2015年3月
45.36 kW



完済



2号
社債
銀行融資

2013年11月
47.88 kW



完済

3号
無配当出資
兵庫県無利子融資
宝塚市再エネ基金



4号
市民出資
兵庫県無利子融資

2016年 4月
46.8 kW



5号
クラウドファンディング
自家消費型

2016年2月 23.88 kW



6号
コミュニティ財団
共感寄付

2016年6月 11.04 kW

ソーラーシェアリング市民農園

自家消費の5号以外はコープでんきに！

数十年に渡る「生産者と消費者の提携活動」
生産地を訪れ、一次産業の現実を知る



農業を存続させる方策はあるのか？



農業の担い手は？

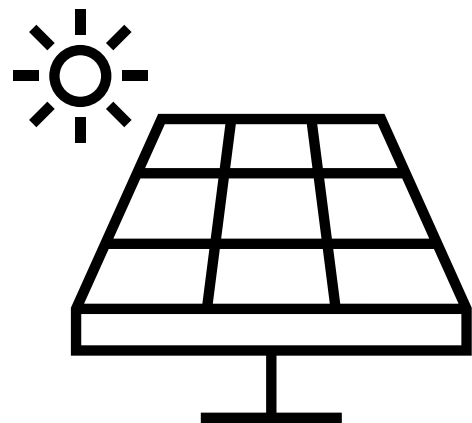
農地を守るには？

耕作放棄地になる
かも...？



全国的に課題はみな
一緒、今に始まった
ことではない

市民農園に
ソーラーシェアリング
をつくったら...



農業の担い手は
農業やりたい一般人
農地を守れるかも！

耕作放棄地にせずに済
むかも！

市民農園でやるこ
とに意義がある
宣伝効果がある



全国にある市民農園は
4200箇所を超える
面積にして約1300ha
※R5年

ソーラーシェアリングだけでは解決できない

農業の担い手不足解消したのか

農地を守る方策として生かされているか

耕作放棄地になる可能性は消えたのか



宝塚すみれ発電所4号の運営形態

発電部門と土地所有者による共同運営

土地の管理、委託
(市民農園の運営)



発電設備の設置、管理、運営



地代支払

売電収入

地代収入

土地管理



地主の古家さん



市民農園利用料収入

作付けは、
市民農園の借り手

利用料金の割引で地域貢献

そもそも、
なんでさつまいも？



一品種に限ると
報告しやすい

農林事務所
と相談して
決めた

地域でつくられている
作物であり、他の畑との
比較がしやすい

みんなでさつまいも、
楽しいんじゃない？



ソーラーシェアリング
市民農園
共同プログラム

コープこうべ



近畿大学藤田ゼミ
龍谷大学竹歳ゼミ



(株) 宝塚すみれ発電

KOYOSHI農園

2025年度 実施内容

回	日時	内容	環境学習担当
1	4/19	【体験】 畝立て、マルチ張り 【学習】 ソーラーシェアリングとは	宝塚すみれ発電
2	5/10	【体験】 植え付け 【学習】 コープこうべと環境	コープこうべ
3	7/12	【体験】 草刈、つる返し 【学習】 地域経済の回し方 I	宝塚すみれ発電 龍谷大学 近畿大学
4	10/25	【体験】 芋ほり 【学習】 地域経済の回し方 II	近畿大学 龍谷大学
5	11月29日	【試食会】 クッキングサポーター 【学習】 振り返り報告会	担当全員



地域の活性化や雇用などを含む
人・社会・地域・環境に配慮した消費行動のこと

- 社会的な課題に気付く、ほかの買物を通して、その課題の解決のための、自分自身ができるのが多量であることが、シングル消費の第一歩
- 商品・サービスを広げると同時に、安全・安心、品質、価格といった点だけでなく、「倫理的消費」という価値の尺度を持つことで、「安全」や「便利」に偏されたものに目を覚ましていくことになる。

⇒ 何を買うか考える時の**ひとつの尺度**

エネルギー、食糧、地域経済まで学ぶ環境学習
実は「人育て」にもつながっている



1 知る (知る)
2 試す (試す)
3 気づく (気づく)

でんき作るひと

宝塚すみれ発電→
持続可能なエネルギーを地域に！



さくもつ作るひと

市民農園利用者→生産者にもなれる！
コープこうべ、近畿大学、龍谷大学



でんき使うひと

コープでんき加入者→
持続可能な社会づくりに
貢献



農地まもるひと

地主、西谷ソーラー
シェアリング協会→
未来の農業作り

でんき買うひと

コープこうべ→
持続可能なエネルギーを
消費者のもとに届ける

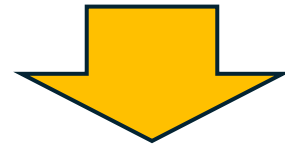


取組を明確化し、理解者を増やすことが必要

SDG s 目標12

つくる責任、つかう責任とは？

持続可能な方法で生産し、責任を持って消費する



ターゲットは11個ある

2030年までに天然資源の持続可能な管理及び効率的な利用を達成する。

2030年までに小売・消費レベルにおける世界全体の一人当たりの食料の廃棄を半減させ、収穫後損失などの生産・サプライチェーンにおける食品ロスを減少させる。

どこの、だれが、どうやって実現させるのか？

コープこうべの「電源地」であることを 証明する看板設置



地域への波及効果：ソーラーシェアリングが宝塚市北部地区に8基



①

2015年8月 58.5 kW (個人所有)



②

2015年11月 37.44 kW (個人所有)



③

2015年12月 50.7 kW (個人所有)



④

2016年4月 46.8 kW (宝塚すみれ発電所有)
兵庫県無利子融資制度適用

地域の人々が自ら投資し運営するソーラーシェアリングが増え、そのすべてに非常用電源を設置



⑤

2016年12月 51.67 kW (個人所有)



⑦

2018年12月 57 kW

すべてのソーラーシェアリングに電源地としての看板設置



⑧

2019年2月 57 kW

⑦⑧は西谷ソーラーシェアリング協会所有 (新たに発足した地域団体)
兵庫県無利子融資制度適用



⑥

2017年7月 57 kW (個人所有)

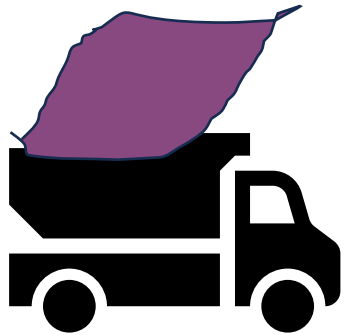
2021年より続く銀座三ツバチプロジェクトとの 取り組み！「さつまいもの新たな六次化」

収穫したサツマイモの一部を焼酎原料として発送
(2021年➡140kg 2022年➡160kg 2023年
➡190kg 2024年➡200kg 2025年度➡270kg)



送り先は
九州 

豊前市の社会福祉協議会
「敬愛会」へ



洗い

干す

刻む



豊前市の酒造場
「後藤酒造」へ



瓶注入後も熟成を
続ける焼酎



芋焼酎 宝塚芋人 ハーフボトル
720ml

芋焼酎「宝塚芋人」誕生！

各地の「芋人」仲間



下関芋人

巢鴨芋人

芋 札
人 幌

芋 銀
人 座

長者町
芋人

芋 宝
人 塚





資源を活かす再エネ推進

薪炭林としての里山整備
と伐採木のバイオマスエ
ネルギー熱利用事業
(一社徳島地域エネルギー)



獣害対策で農業を守る

田畑を守る獣害対策、
有害鳥獣駆除

再エネを軸にさまざまな事業と連携し、関与人口を増やすことで、経済も食もエネルギーも関連性を持ち、持続可能なまちとなる



受粉活動で作物の飼育を促す

農業とエネルギーのコラボレーションで
食を守るソーラーシェアリング事業
(株)宝塚すみれ発電

宝塚すみれ発電はつなぎ役

環境保全活動+環境教育

養蜂活動

一社宝塚ミツバチプロジェクト
日本ミツバチ 西洋ミツバチ



収穫した芋の一部を六次化



芋焼酎
「宝塚芋人」
(株)宝塚すみれ発電

農村地帯では受粉のためのポリネーターとしての役割を持つミツバチに環境保全の一端を担ってもらおう。都市部ではミツバチの功績を伝え、見る、学ぶことを主軸とした活動を続ける。(宝塚市教育委員会との事業：宝塚ビースクール実施)

食とエネルギー、領土を取り合わない
だれもが飢えることのない世界を作りたい

